

教育実習

6/10(月)~28(金)

◆実習生研究授業◆

実習生	実施科目	実施クラス	単元
小川 誠也	世界史	3年3組	近世ヨーロッパの重商主義と啓蒙専制主義
関澤 勇喜	コミュニケーション英語Ⅱ	2年2組	Lesson3 Part3 Landfill Harmonic
倉持 ひかり	保健	2年3組	心肺蘇生法の原理と行い方
松田 菜々美	国語総合（現代文）	1年7組	小説『羅生門』
荒木 魁斗	世界史	2年4組	ギリシア世界

今年度の教育実習は、本校卒業生と筑波大学生の5名の実習生をお迎えして実施しました。3週間の教育実習を終えた実習生の「振り返り」を掲載しています。また、たくさんの生徒が実習生との授業やHRと一緒に過ごしました。生徒の感想もあわせてご覧ください。

3週間の教育実習が終わったの印象は悔しさをとにかく感じたこと、そして感謝する日々でした。教科指導では良かった点や改善点を的確に、どこまでも親身になってアドバイスしていただいた先生方の存在があったこと。笑顔で接してくれたり、冗談を言って笑わせてくれる生徒たちの存在があったこと。いろいろな形で下妻二高の皆さんにはお世話になりました。一番に悔しかったことは、授業において伝えたいことが上手く表現できなかったことです。そのため、生徒の皆さんには今からでも自分の考えや意見を表現する機会を増やすことをお勧めします。思いや考えを伝えるにはちょっぴり勇気がいるとは思いますが、これから大人になっていく皆さんには必要な力となると思いますよ。最後に、3週間の実習生活では本当にお世話になりました。どうもありがとうございました。皆さんが温かく迎えてくれた下妻二高での経験は私にとってかけがえのない時間でした。大切にしますね。

小川 誠也 先生（地歴）



【生徒より】

①ただ、教科書の内容に沿って授業をするのではなく、その時の裏話や豆知識をふまえながら進めてくれたので、状況をイメージしながら学ぶことが出来ました。私たちの方を見ながら説明してくれたので、内容が頭に入ってきてやすかったです。

②授業の終わりにやる論述活動の際に、困っていた私やクラスの生徒に声をかけて理解するまで細かく教えてくれて、私たち一人ひとりが理解することを大切にしてくれている責任感のある先生だと思いました。毎回、とても充実していて楽しかったです。ありがとうございました。

3年3組 萩原 陽菜

【指導教員より】

小川先生は自分の思うような授業が出来なかったとき、上手く説明が出来なかったとき、予習や研究が思うように進展しないとき、「悔しい」という気持ちを強くお持ちでした。とても素晴らしいことだと感じました。私たち教師は教科で採用されていて、特に高等学校では教科の専門性が問われる以上、教科指導は私たちの仕事の根幹です。良質な映像授業が無料でアクセスできてしまうこの時代、私たちはライブでしかできないこと、学校でしかできないことを模索していかなばなりません。その教科指導に対して、強い情熱をお持ちの小川先生の姿を見て、私も初心に返るとともに、大変な刺激を受けました。もし小川先生が教職に就くのであれば、ぜひ一緒に茨城県の世界史教育を日本一のものにしていきたいと思います。

教諭 山田 啓介

関澤 勇喜 先生（英語）



6/10～6/28までの3週間、教育実習をさせていただき、ありがとうございました。皆さんにとっては高校生活3年間の中のたった3週間に過ぎないかもしれませんが、私にとっては大学の、いや、人生の中で最も充実し、内容の濃い3週間だったと言っても過言ではありません。この3週間で、教員を目指すものとしても、1人の人間としてもかなり成長できたと感じています。これも、生徒の皆さんをはじめとする、下妻二高の皆さんが温かく迎え入れてくれて、見守ってくれていたからだと思います。皆さんと関わることができてとても幸せです。本当に感謝しています。ありがとうございました。最後になりますが、生徒の皆さん、後悔をしないように、自分のやりたいことをやってこれからの高校生活を存分に楽しんでください。応援しています。

【生徒より】

関澤先生の授業は楽しく真面目な授業で、先生らしいハツラツとした空気でした。HRで話しかけてくれたときは、時に面白く、時に為になる話をしてくれました。先生からは、授業以外でも大切なことをたくさん教えてもらいました。短い間でしたが、本当に充実した期間でした。本当に感謝しています。 2年1組 霜村 龍騎

【指導教員より】

関澤先生を一言で形容するならば、「探究心の塊」でしょう。初回の授業で思ったような成果が得られず、反省し、生徒の視点に立った授業展開を必死に考えていましたね。そのような姿勢は、教員にとって大変重要なことです。あらゆる観点から授業の組み立てをし直し、研究授業を含め、終盤の授業は見違えるほど自信に満ちた授業をしておられました。関澤先生の揺るぎない探究心と生徒と向き合おうとする姿勢が、生徒の心を掴んだのだと確信しています。教師になった暁には、その情熱溢れる指導で、将来を担う生徒を育てていって欲しいです。今後の活躍を期待しています。

教諭 北條 奈緒美

教育実習でお世話になりました、倉持ひかりです。実習を終えて一番感じていることは、下妻二高はとても素晴らしい学校で私は恵まれた環境で勉強させていただけたということです。学生である私が学校という社会のなかで、先生としてどうあるべきか悩みました。出来上がった人間関係のなかに飛び込むのは私の性格上、とても怖かったのですが優しく素直で明るい生徒の皆さんのおかげで私は溶け込むことができましたのだと思います。また、授業においては担当教官の徳守先生をはじめ、先生方がお忙しい時間を割いて的確なアドバイスや改善点などを指摘してくださったおかげで、今の私に必要なもの、逆に今の私が持つ強みに気づくことが出来ました。この3週間は先生方、生徒の皆さんに助けられた毎日でした。私はもう二度と高校生はできません。皆さんの何気ない日々はとても貴重な時間です。精一杯楽しんで下さい、応援しています。ありがとうございました。

倉持 ひかり 先生（保健体育）



【生徒より】

先生は笑顔で授業を始めてくれるので、毎回楽しく授業を受けることが出来ました。私は人見知りなので先生から声をかけてもらえてとても話やすかったです。進路の相談や好きな物の話もたくさん聞いてくれて自分のお姉ちゃんのようにでした。先生の明るさと笑顔を見習いたいと思います！ 3年1組 大里 萌々香

先生の授業は大切なポイントがまとめられており授業内容を理解することができました。明るい話し方は眠気を吹き飛ばしてくれ集中して授業を受けることが出来ました。机に向かって心臓マッサージの練習をしたことは恥ずかしかったですが今でも脳裏に焼き付いています。僕は将来、教師になることが夢なので先生のような教師になれるよう夢を実現できるよう頑張ります！ 2年5組 中野 涼太

【指導教員より】

時間が経つのは早い、それを感じる3週間だったと思います。笑顔でハキハキとしたオープンマインドな姿勢が生徒の心をしっかり掴み、自然と周りに人が集まってくる人間性を見てぜひ教師になってもらいたいと強く感じました。授業においては、素直に吸収しようという態度が質の向上に繋がっていたと思います。準備の大切さ、言葉の選び方、教材の使い方などの重要性をしっかりと感じ取り成長していく姿に目を見張るものがありました。教える立場にありながら、私自身を見つめ直す貴重な時間を過ごさせてもらったことに感謝します。今回出会った人たちとの縁をこれからも大切にしよう。

教諭 徳守 直樹

松田 菜々美 先生（国語）



こんにちは。国語科でお世話になりました、松田菜々美です。3週間本当にありがとうございました。全てが不安で始まった教育実習でしたが、下妻二高の生徒はみんな優しく受け入れてくれ、先生方のご指導もあり、楽しみながら頑張ることができました。生徒のみなさんが、私たち教育実習生に、先生として進路の相談もすれば、年の近いものとして、いろいろお話してくれて、みなさんとの授業時間外の時間も大切なものとなりました。下妻二高生が持つ雰囲気、素直さは大きな武器だと思います。それぞれのこれからに向けて頑張ってください。私も頑張ります。

【生徒より】

最初はお互いに緊張していて上手く話せませんでしたが、先生がいつもニコニコしていたので、すぐに親しく馴染むことができました。先生の個人的なお話とても興味深くて、故郷の宮崎の話を楽しく聞くことができました。授業では、難しい文法を一つ一つ丁寧に教えてくれて、ありがとうございました。また、授業を受けたいです。

1年3組 飯田 知加

【指導教員より】

みずみずしい感性をもった松田さんと一緒に、教材研究や授業観察を行う機会を得て、私にとっても貴重で楽しい3週間でした。どんな生徒にも明るく笑顔で語りかけ、自然と生徒の心をほぐしてしまう、魅力的な実習生でした。授業の工夫に時間を惜しまず、常に生徒の目線で考えようと努力されていました。声かけ一つで生徒が変わっていく感動とそれゆえの責任の重さを胸に刻んだ毎日でした。生徒が大好き、生徒に寄り添いたいという気持ちがあふれている松田さん、将来は、日本語教師として国際的に活躍されることでしょう。応援しています。

教諭 原田 京子

学習したものを言語化する。このことは往々にして難しく、殊に学ぶべき対象が広範囲に及ぶ今回の実習のような場合は、なおさら難しいものとなる。量が多く、重いものを食べた時、消化に時間がかかるようなものである。だが、一定期間の学習を通じて習得されたことは、そのことについて当の本人が自覚的か否かにかかわらず、習得態（habitus/disposition）として自己を規定することとなる。本実習で学んだことを言葉によって表現するには、もう少し時間がかかりそうだ。とても多くのことを学び、私がまだそれを消化しきれていないからだ。しかし、何らかのものは習得され、それは私に対しプラスに働いている。これは確かである。おそらく生徒の皆さんも、今の私のように多くのことを学んだはずだが、それを上手く言葉で言い表すことができず、困惑するということがあるだろう。だが安心してほしい。たとえまだ言葉で表現できずとも、それは皆さんの血肉となっているだろうし、いつか言語化できる時が来る。

荒木 魁斗 先生（地歴）



【生徒より】

荒木先生の研究授業は、生徒たち自身に考えさせるものが多く、その授業スタイルは楽しく、また新鮮に感じました。荒木先生は私たち生徒と年が近いからか、趣味の話がよく合いました。また、教育実習生の中には部活のOBがいたので、為になる話を聞けました。

2年4組 山野 駆流

【指導教員より】

荒木さんは物怖じしない性格と大胆さを持ち、予想もつかない発想を生かした授業は生徒たちにも良い刺激になったのではないのでしょうか。初めは生徒との距離感や教育実習そのものにも悩んでおいてでしたが、2週目以降は謙虚に学ぶ姿勢が見て取れ、授業で失敗を繰り返しながら、少しずつ教育実習生としての自覚が芽生えていったのではないかと思います。いつか教師として教壇に立つ日が来たら、足元をしっかりと見つつ、傾聴と共感の姿勢をもって、生徒の目線に合わせた授業をなされることを願っています。

教諭 高橋 剛士

実習生の皆さん、お疲れ様でした。今後の活躍をお祈りしております。